

児童発達支援 事業所における自己評価の結果（公表） （平成30年9月）

事業所名

夢んぼ

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			必要な広さを確保しています。
	②	職員の配置数は適切である	4			基準の職員配置をしています。ご利用児の様子に応じてスタッフの増員もしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2		子どもたちが、見て分かりやすい環境作りに努めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1		清潔な空間、活動のしやすい空間作りに努めています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	2		月に1回、スタッフMTを実施し、振り返りや支援についての確認をしています。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		アンケート結果をもとに、MTを実施し改善に努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		ホームページで公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		現在は、ご利用者・法人全体で評価をして業務改善に努めています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1		積極的に研修への参加をしています。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	2		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	1		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2		毎月ミーティングをして、職員間で話し合っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			年齢や成長に応じて必要なプログラムの作成に努めています。

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4			
適切な支援の提供	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2		実施しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		振り返りを行っています。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			出席して情報共有に努めています
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			関係機関との情報共有をしています
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	-	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	-	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1		必要に応じて、情報共有を行っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		研修に参加しています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	1		地域の児童館での交流を行っています
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1		連絡ノートや送迎時、電話などでお話の機会を設けています。
保護	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2		活動としてはできていませんが、相談があった時に対応しています。研修などに参加していきます。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		契約時に行っています。

者への説明責任	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	1	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		面談をしています。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	イベントなどで交流できる機会を作っています。今後は保護者会を企画し、交流の機会を作っていきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、そだんや申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	1	迅速に対応しています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月会報を発行。月に2回ブログ配信（事業日誌）、毎週のメール配信を実施しています。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	4		個人情報は、鍵のある書庫で保管しています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		写真やホワイトボードなどを活用し伝達しています。
保護者への説明責任	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	2	マニュアルの周知と研修への参加をしています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2	消防署による避難訓練を実施しています。事業所独自の避難訓練を取り入れておお、多くの利用児が参加できるようにしていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	4		確認しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	アレルギーについて利用前に確認し、おやつや食事など対応しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ミーティングなどで共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止チェックシートを活用しています。
非常時等の対応	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	身体拘束マニュアルを職員で共有します。身体拘束の必要がある場合は、説明と了解の上、支援記録に記載します。